

竹原市現地調査 調査結果

調査目的：本調査は、竹原市景観計画策定業務委託における重点地区の選定について、重点地区の区域設定や景観形成の基準を検討するために実施したものである。

調査期間：令和 2 年 6 月 29 日～8 月 3 日

調査箇所：竹原地域（竹原駅周辺，国道 432 号沿道，町並み保存地区周辺）
忠海地域（忠海駅周辺）

■調査風景



■建物外観調査のまとめ

		竹原駅前周辺	国道 432 号沿道	町並み保存地区周辺	忠海駅周辺	
建築物の高さ		10m 未満 82% 13m 以上 6%	10m 未満 93% 13m 以上 2%	10m 未満 94% 13m 以上 1%	10m 未満 95% 13m 以上 1%	
外壁の色彩 (基調色)	色相	Y 24% YR 35% N 18% R 10% PB 3% B 7%	Y 32% YR 36% N 7% R 8% PB 7% B 4%	Y 26% YR 34% N 17% R 10% PB 4% B 5%	Y 31% YR 22% N 14% R 12% PB 7% B 8%	
		59%	68%	60%	53%	
		彩度	低彩度が多い (0.5～2)	低彩度が多い (0.5～2)	低彩度が多い (0.5～2)	低彩度が多い (0.5～1)
		明度	高明度が多い (8～9)	高明度が多い (8～9)	高明度が多い (8～9)	高明度が多い (8～9)
外壁の色彩 (強調色)		色相	Y 15% YR 35% R 23%	Y 12% YR 52% R 22%	Y 11% YR 40% R 29%	Y 10% YR 31% R 36%
	50%		64%	51%	41%	
	彩度	0.5～6 程度が多い	0.5～6 程度が多い	0.5～6 程度が多い	0.5～6 程度が多い	
	明度	様々な明度	様々な明度 (3～7 の暗めが多い)	様々な明度	様々な明度使用 (低明度が基本)	
建物用途		住宅 41% 店舗・併用住宅 36% 事業所・併用住宅 14%	住宅 58% 店舗・併用住宅 16% 事業所・併用住宅 12%	住宅 73% 店舗・併用住宅 12% 事業所・併用住宅 5%	住宅 73% 店舗・店舗併用住宅 7% 事業所・事業所併用 3%	

調査方法

1) 建物外観調査

- ・重点地区の設定で選定されたゾーンに立地している建築物の高さ（階層）、外観の色彩、建物用途、建築設備の有無等を目視により確認する。
- ・近景の眺望を阻害する要素等を確認・入力する。

建物ID	建築物の高さ	外壁の色彩（基調色）	外壁の色彩（強調色）	建物用途	建築設備の有無
1					
2					
3					



2) 視点場調査

- ・重点地区を一望できる代表的な視点場や多くの人から注目される視点对象の眺望を確認し、眺望を遮るものや阻害する建築物等を確認する。
- ・一体的な景観を形成するため、建築物の屋根の色彩や形状等を確認する。



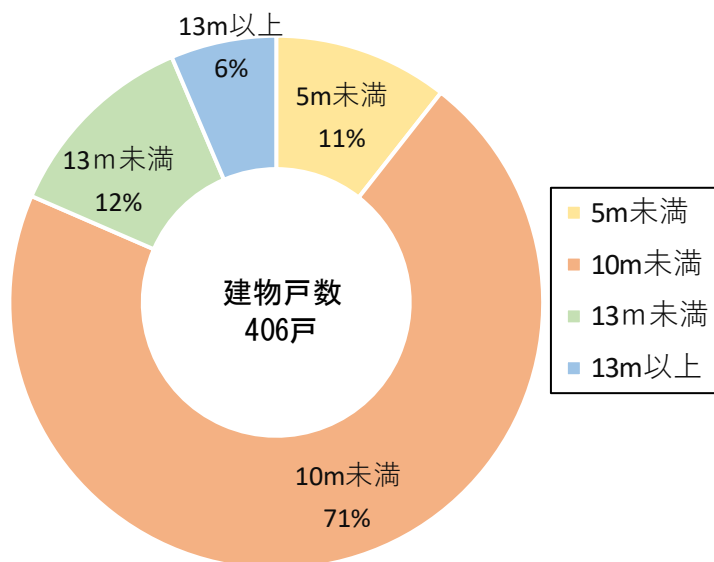
調査結果

1) 建物外観調査

I-1 竹原地域（竹原駅周辺）

1) 建築物の高さ

- 竹原地域全体と比べて 10m以上の高さの建築物の割合が高くなっている。
- 警察署やホテル、銀行等の 13mを超える建物が立地している。



【参考】

10m以上の建築物の割合

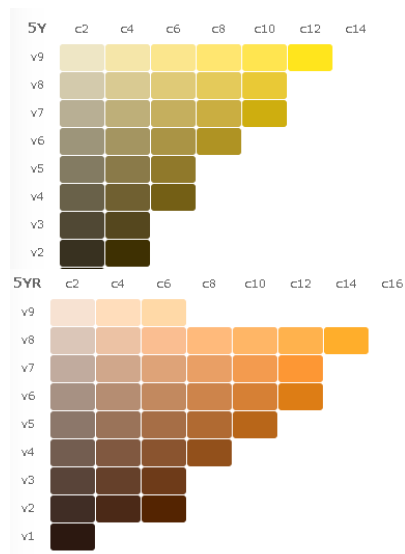
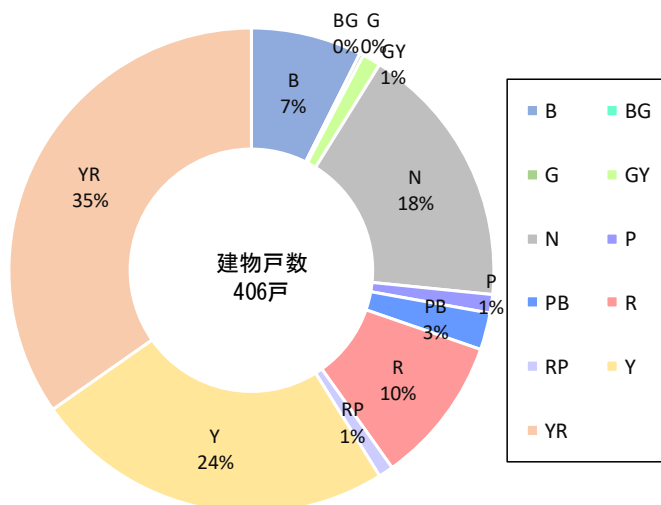
- ・ 竹原駅周辺 18%
- ・ 国道 432 号沿道 7%
- ・ 町並み保存地区 6%
- ・ 忠海駅周辺 5%



2) 外壁の色彩（基調色）

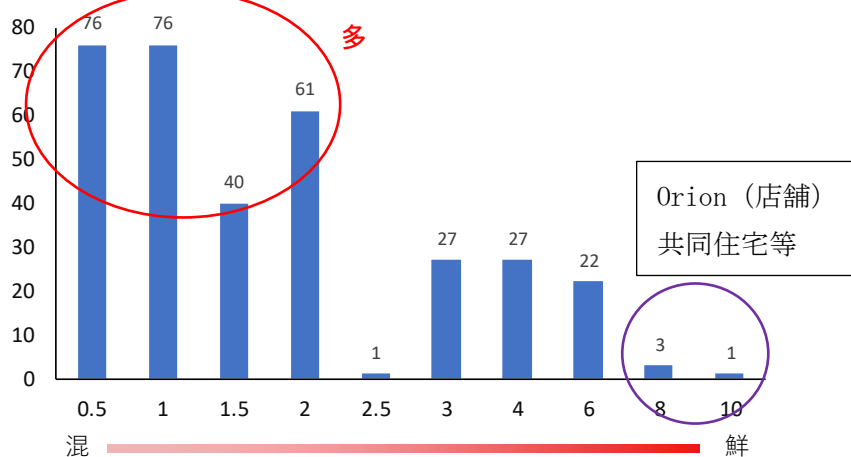
■色相

- 竹原地域全体と比べて大きな違いはなく、Y・YR（黄色系統）の建築物が半数以上を占めている。



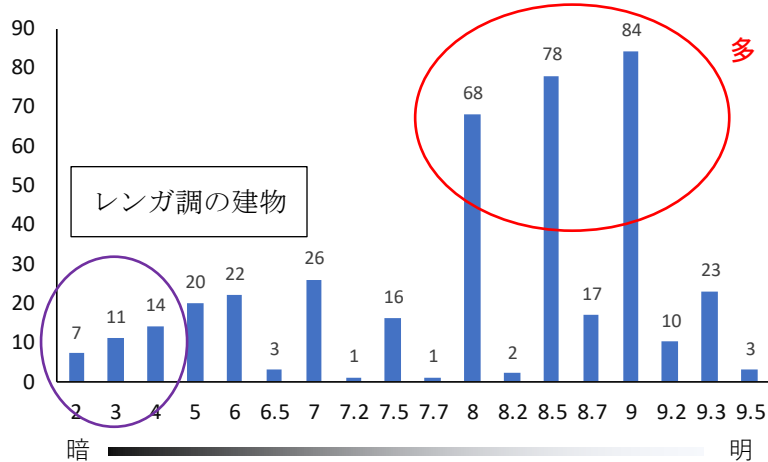
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として低彩度の色が多く使われている。



■明度

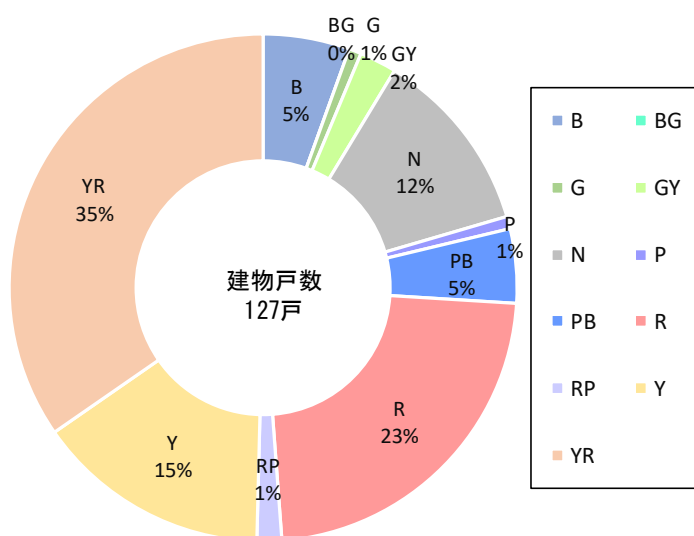
- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として高明度の色が多く使われている。



3) 外壁の色彩（強調色）

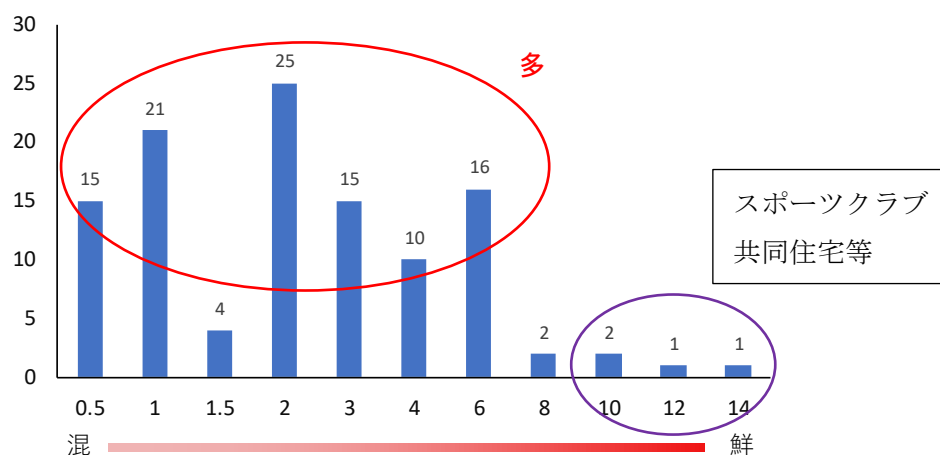
■色相

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として竹原地域全体の傾向と同じく Y・YR（黄色系統）が最も多く、ついでR（赤色）が多くなっている。



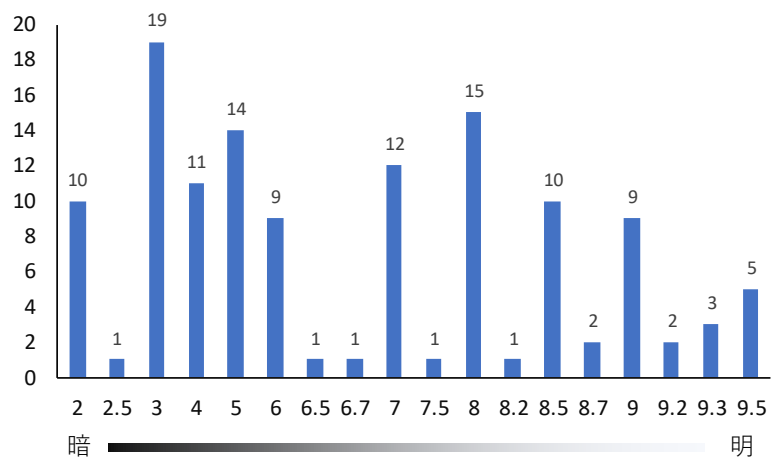
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 0.5～6 程度の彩度の色が多く使われている。



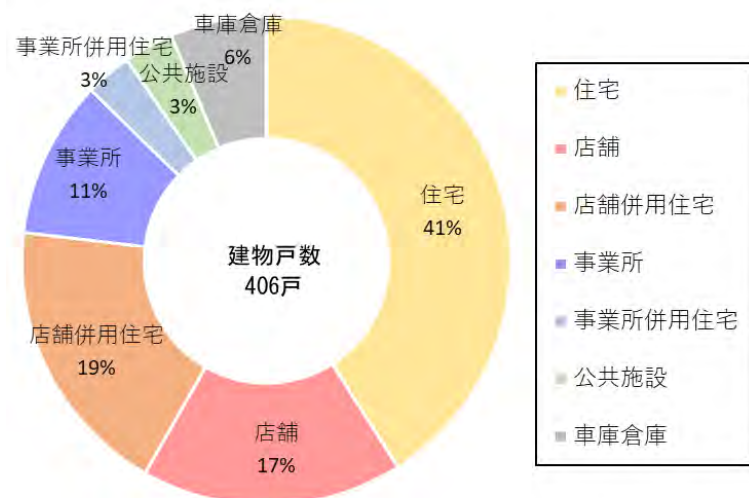
■明度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 様々な明度の色が使われている。



4) 建物用途

➤ 店舗・店舗併用住宅・事業所等の割合が半数以上と高くなっており、商業が中心となっている。



【参考】

店舗・事業所・併用住宅の割合

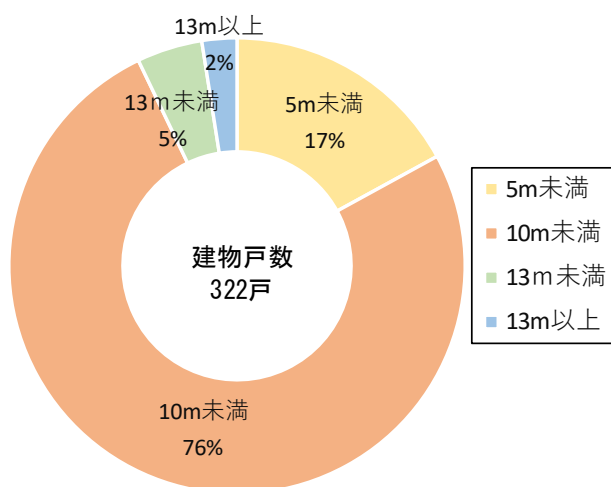
・竹原駅周辺	50%
・国道 432 号沿道	28%
・町並み保存地区	17%
・忠海駅周辺	10%



I-2 竹原地域（国道 432 号沿道）

1) 建築物の高さ

- 10m未満の高さの建築物の割合が高くなっており、全体の 93%が 10m未満の建築物である。
- 市役所やゆめタウン等の 13mを超える建物が立地している。



【参考】

10m未満の建築物の割合

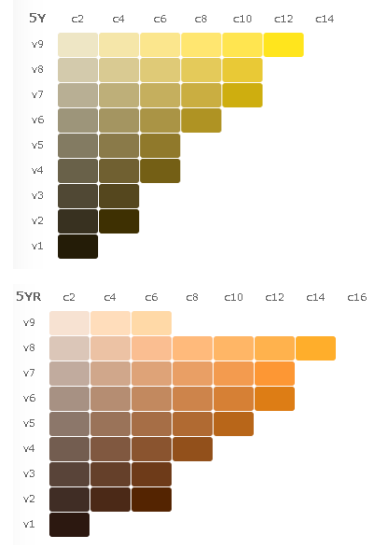
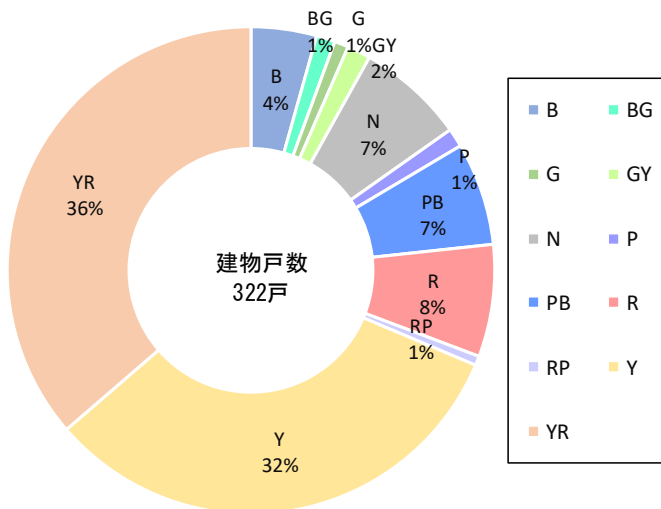
- ・ 竹原駅周辺 82%
- ・ 国道 432 号沿道 93%
- ・ 町並み保存地区 94%
- ・ 忠海駅周辺 95%



2) 外壁の色彩（基調色）

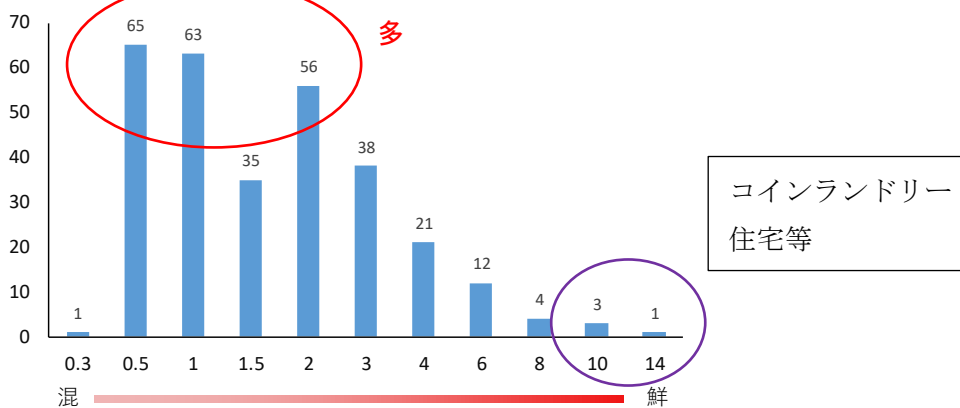
■色相

- 竹原地域と比べて色相に大きな違いはなく、Y・YR（黄色系統）の建築物が 70% 近くを占めている。



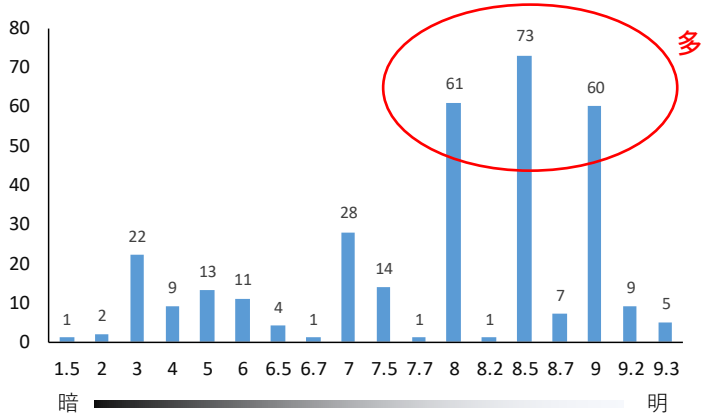
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として低彩度の色が多く使われている。



■明度

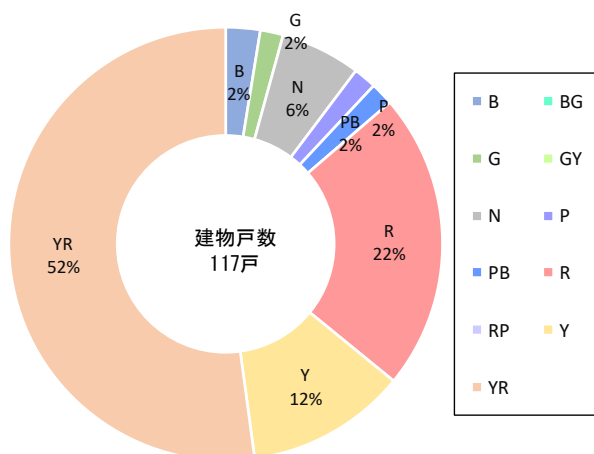
- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として高明度の色が多く使われている。



3) 外壁の色彩（強調色）

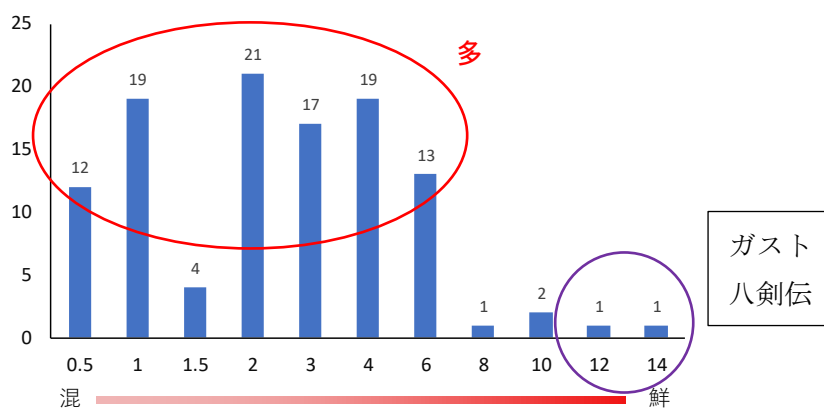
■色相

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として竹原地域全体の傾向と同じく Y・YR（黄色系統）が最も多く、ついでR（赤色）が多くなっている。



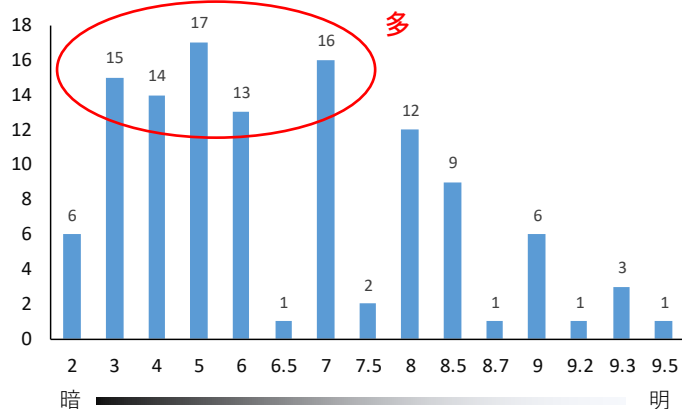
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 0.5～6 程度の彩度の色が多く使われている。



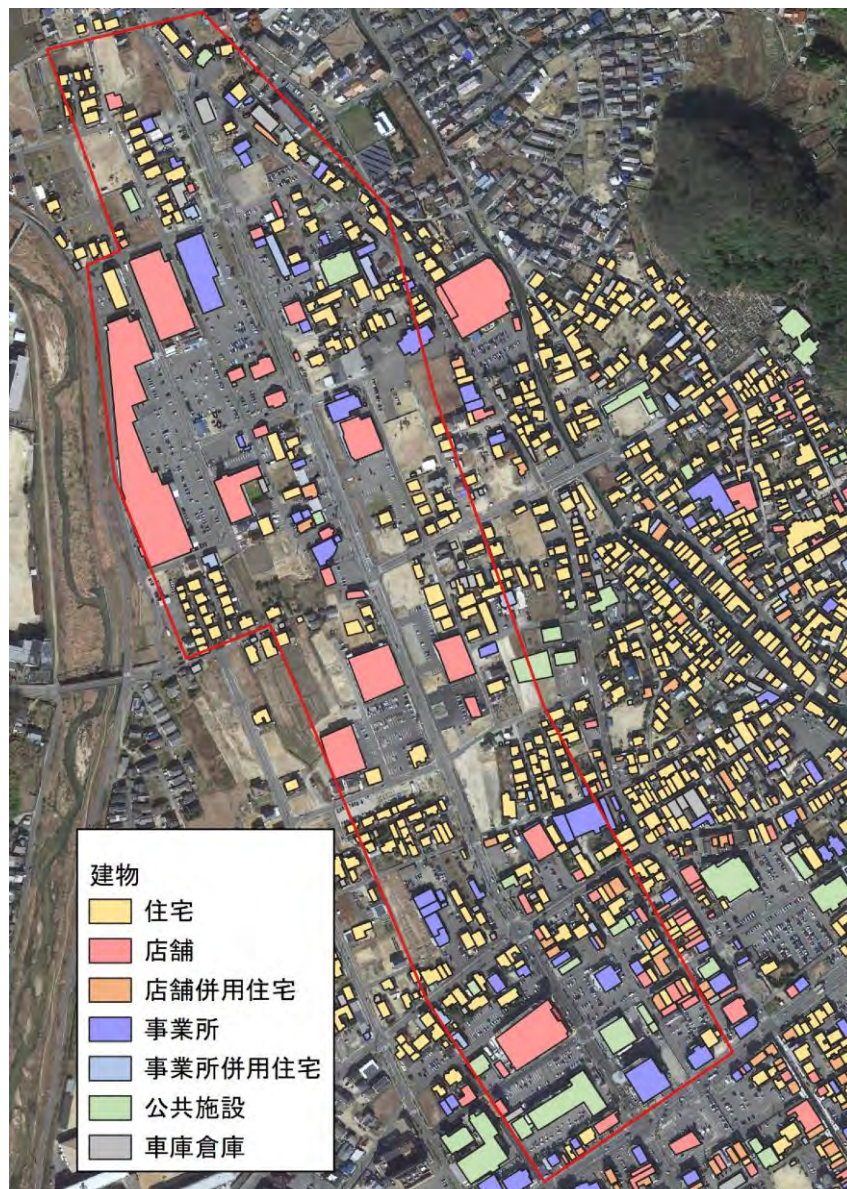
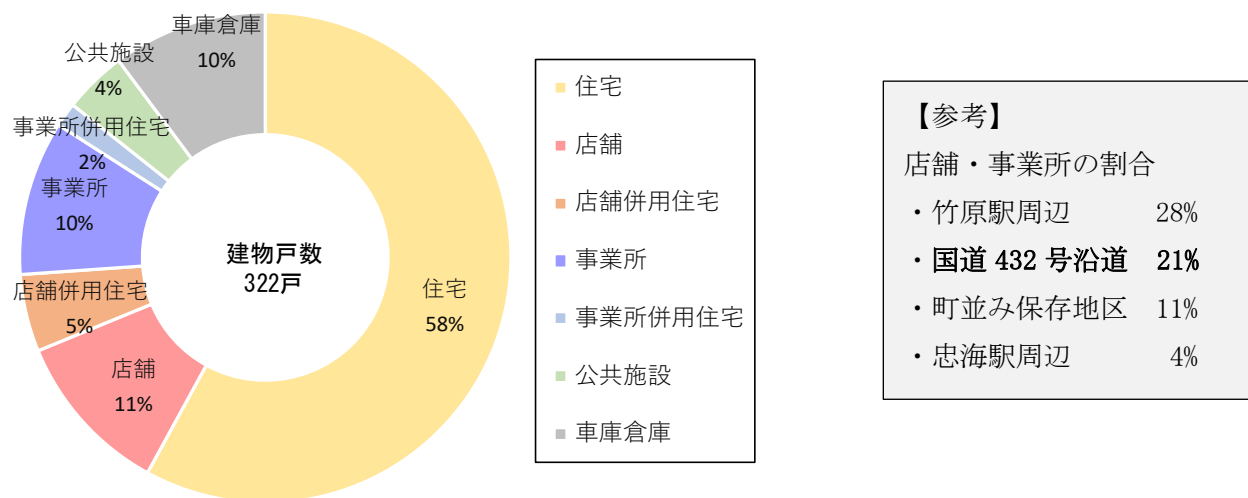
■明度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として様々な明度の色が使われているが、明度 3～7 の暗めの色合いが比較的多く使われている。



4) 建物用途

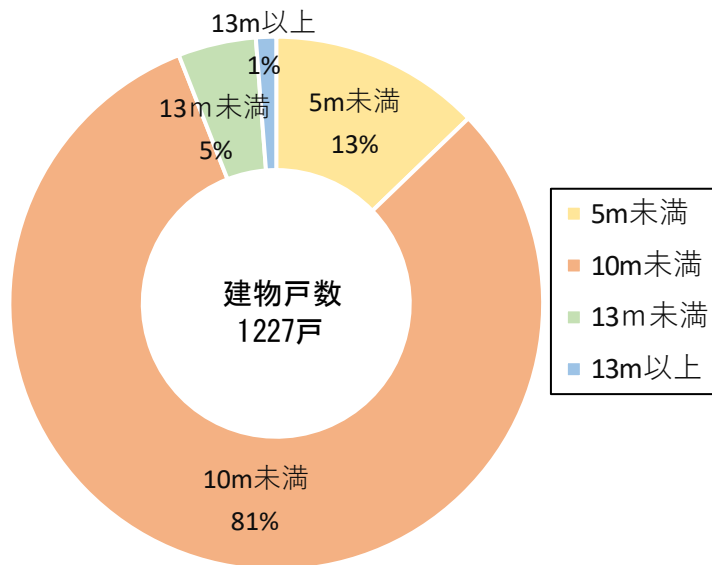
- 国道 432 号沿道は店舗・事業所としての利用が多くを占めている。
- 店舗・事業所の背後地は住宅として利用されている。



I-3 竹原地域（町並み保存地区周辺）

1) 建築物の高さ

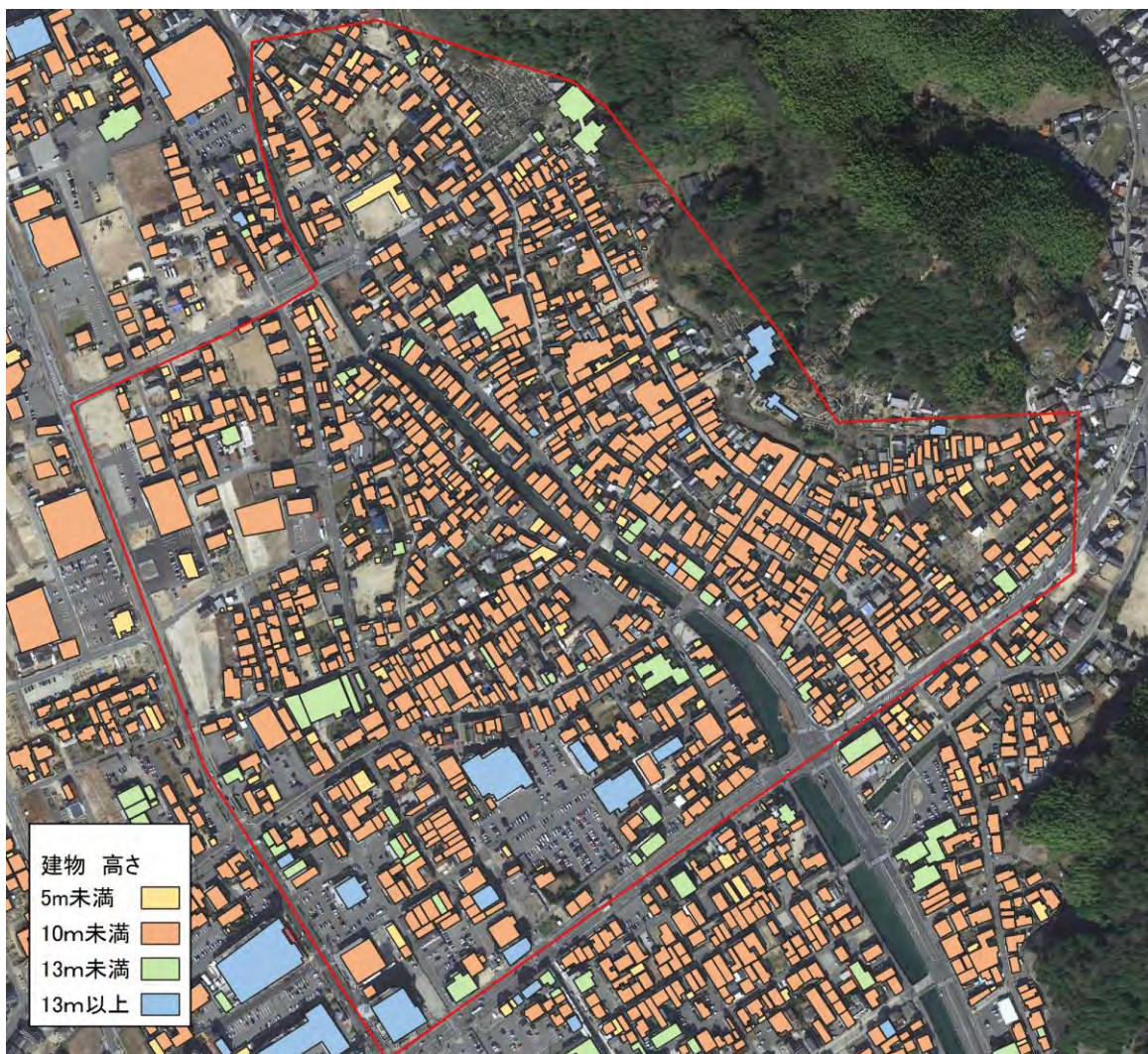
- 10m未満の高さの建築物の割合が高くなっており、全体の94%が10m未満の建築物である。
- 13mを超える建築物は全体の1%であり、医療・福祉施設や社寺となっている。



【参考】

10m未満の建築物の割合

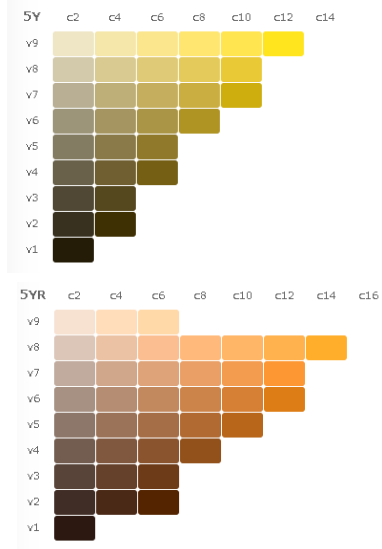
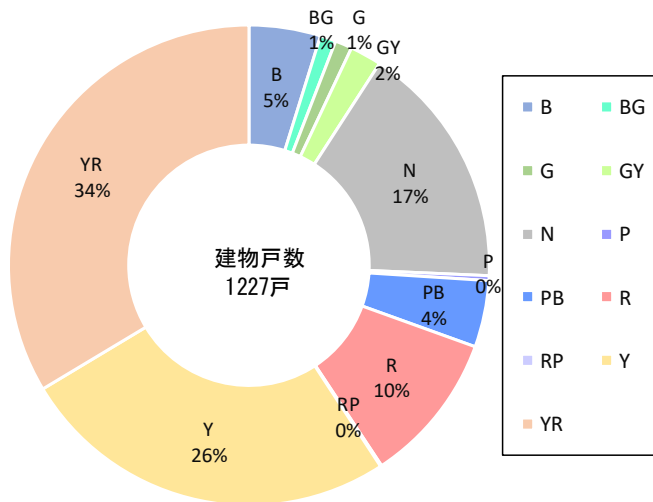
- ・ 竹原駅周辺 82%
- ・ 国道 432 号沿道 93%
- ・ **町並み保存地区 94%**
- ・ 忠海駅周辺 95%



2) 外壁の色彩（基調色）

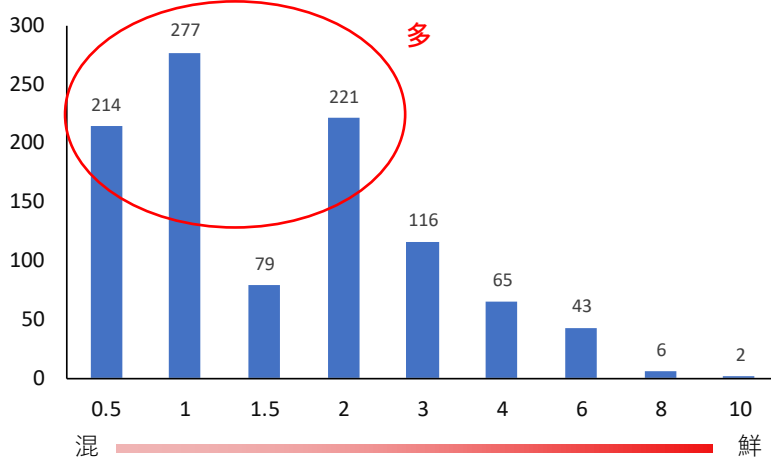
■色相

➤ 竹原地域全体と比べて色相に大きな違いはなく、Y・YR（黄色系統）の建築物が60%を占めている。



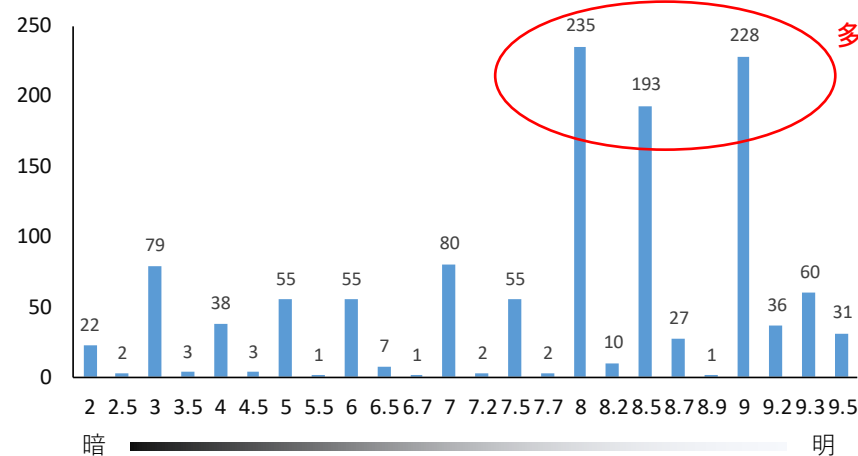
■彩度

➤ 地域内の建築物の外壁は「基調色」として低彩度の色が多く使われている。



■明度

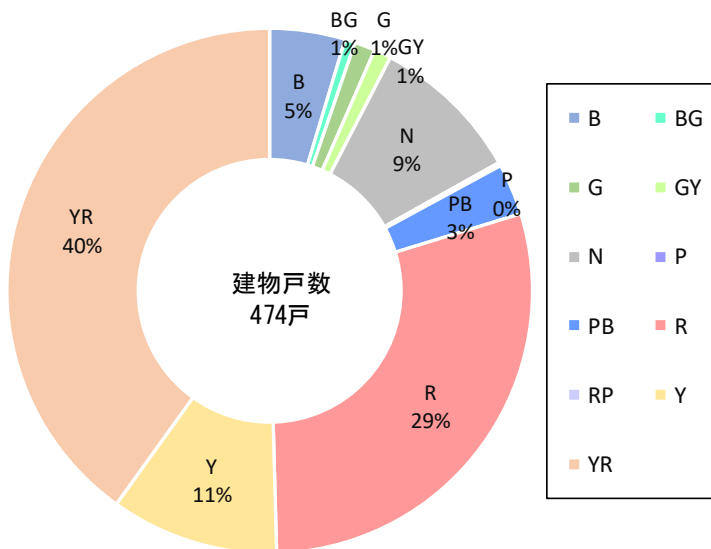
➤ 地域内の建築物の外壁は「基調色」として高明度の色が多く使われている。



3) 外壁の色彩（強調色）

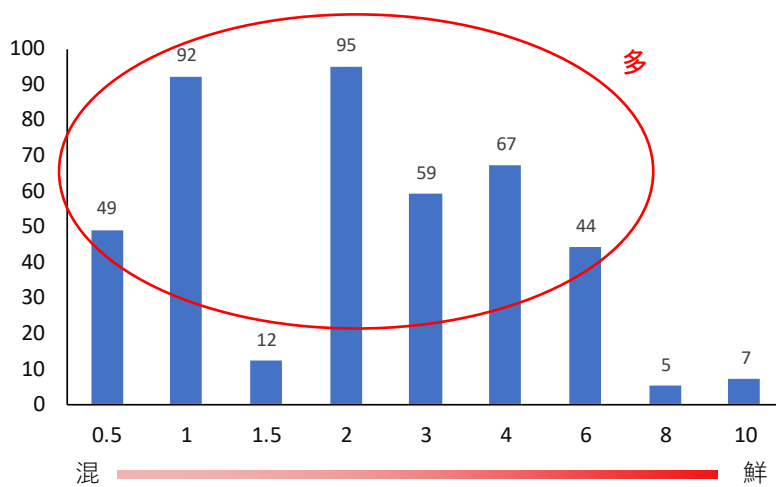
■色相

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として竹原地域全体の傾向と同じく Y・YR（黄色系統）が最も多く、ついでR（赤色）が多くなっている。



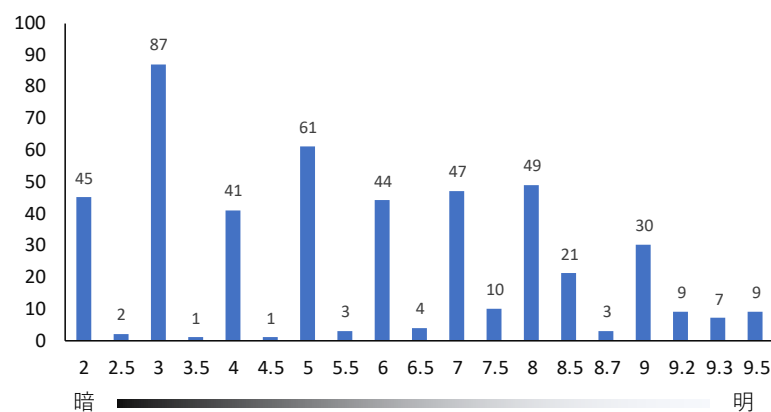
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 0.5～6 程度の彩度の色が多く使われている。



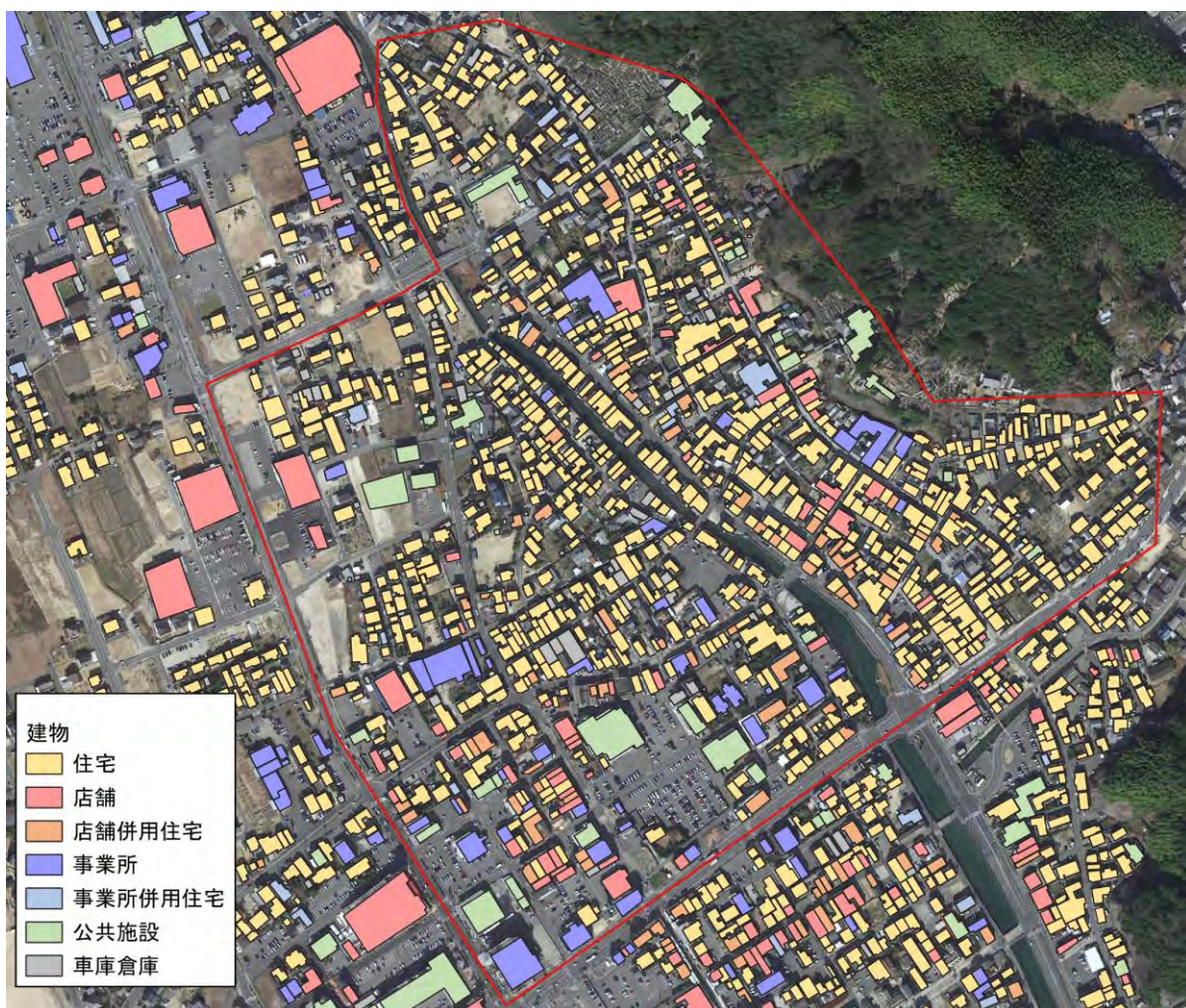
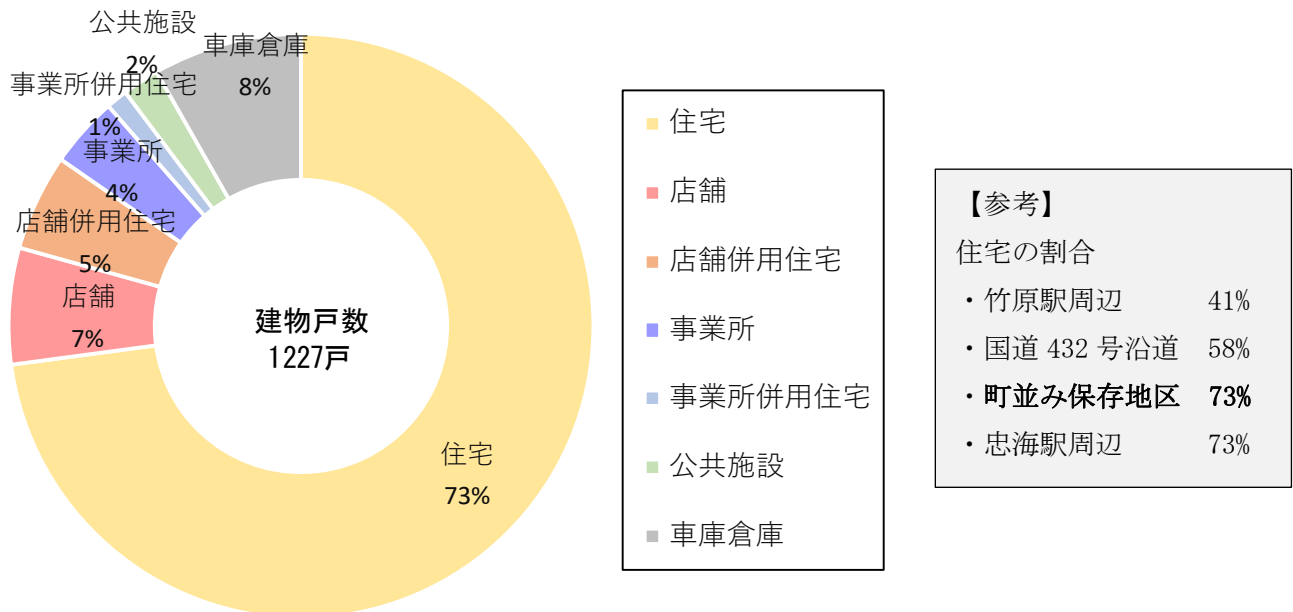
■明度

- 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 様々な明度の色が使われている。



4) 建物用途

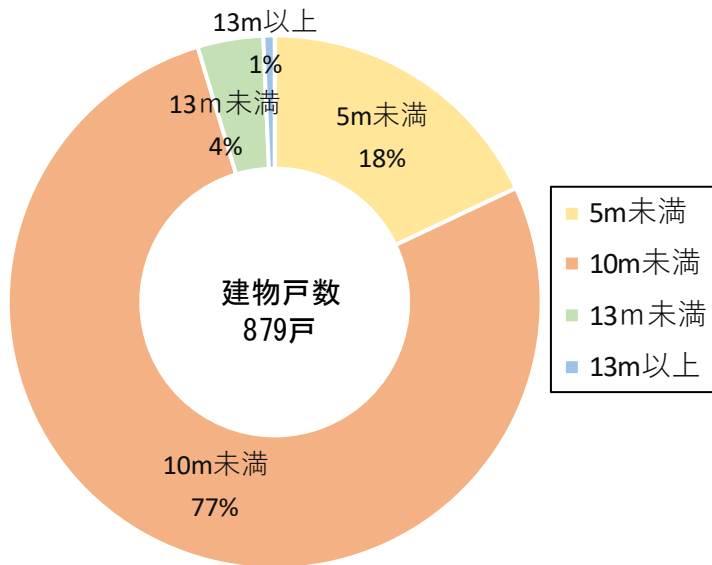
- 地域内の建築物の **70%以上は住宅**となっている。
- 市内外から多くの来訪者が訪れるため、飲食店をはじめとした店舗等の点在している。



Ⅱ 忠海地域（忠海駅周辺）

1) 建築物の高さ

- 10m未満の高さの建築物の割合が特に高くなっており、全体の95%が10m未満の建築物である。
- 13mを超える建築物は全体の1%であり、アヲハタ（株）や社寺、スーパー等が13mを超えている。



【参考】

10m未満の建築物の割合

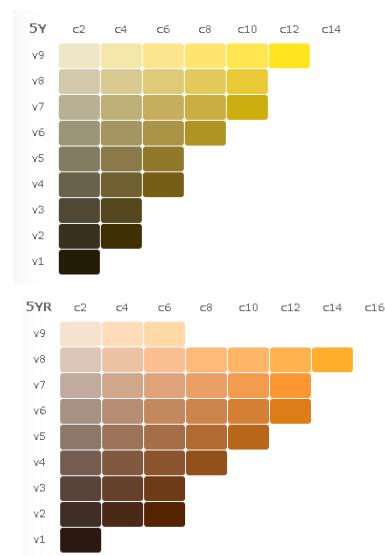
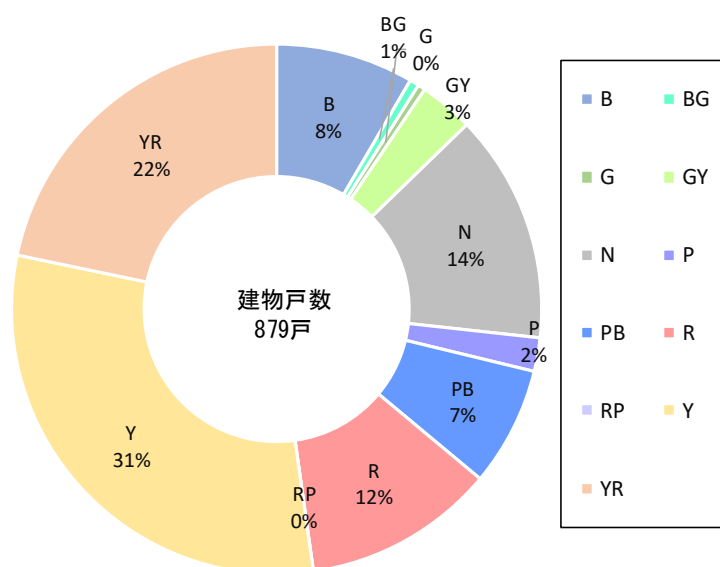
- ・ 竹原駅周辺 82%
- ・ 国道 432 号沿道 93%
- ・ 町並み保存地区 94%
- ・ 忠海駅周辺 95%



2) 外壁の色彩（基調色）

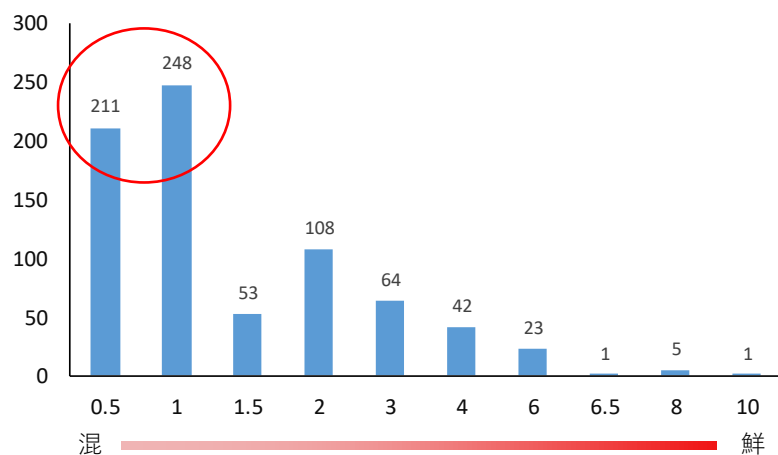
■色相

- 竹原地域と同様に Y・YR（黄色系統）の建築物が半数を占めている。
- RやPB,Bの割合が竹原地域に比べ高くなっている。



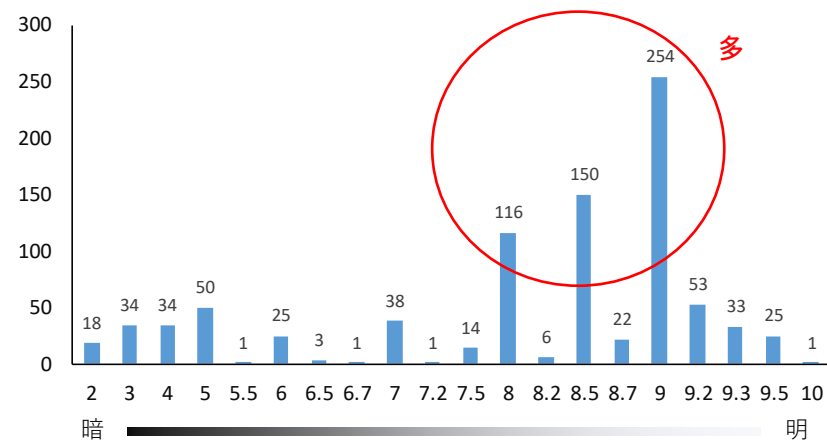
■彩度

- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として 低彩度の色が多く使われている。



■明度

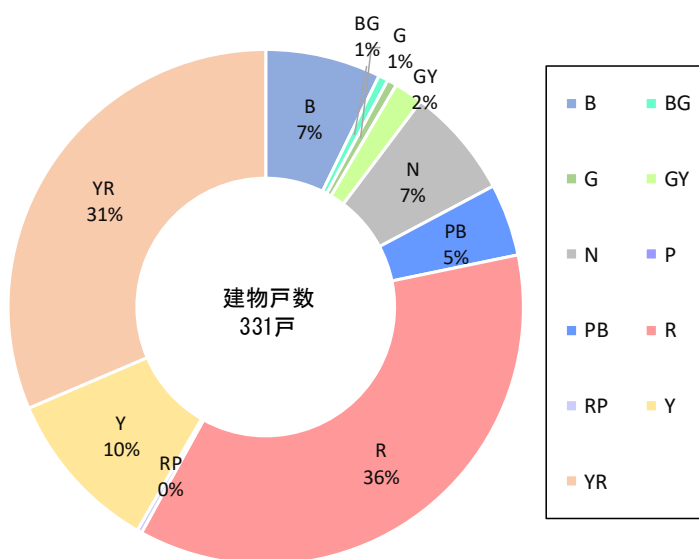
- 地域内の建築物の外壁は「基調色」として 高明度の色が多く使われている。



3) 外壁の色彩（強調色）

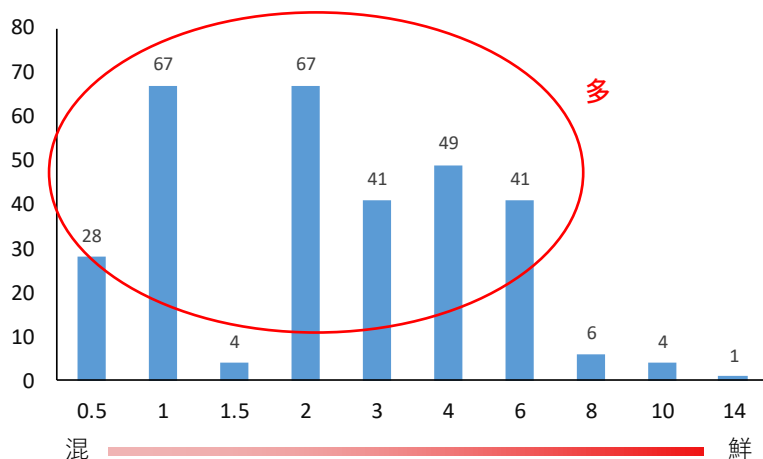
■色相

➤ 地域内の建築物の外壁の「強調色」は R（赤色）が最も多く、ついで YR（橙色）が多くなっている。



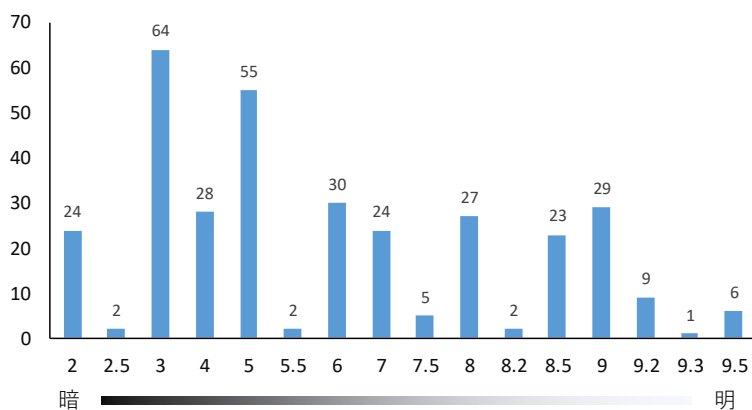
■彩度

➤ 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 0.5～6 程度の彩度の色が多く使われている。



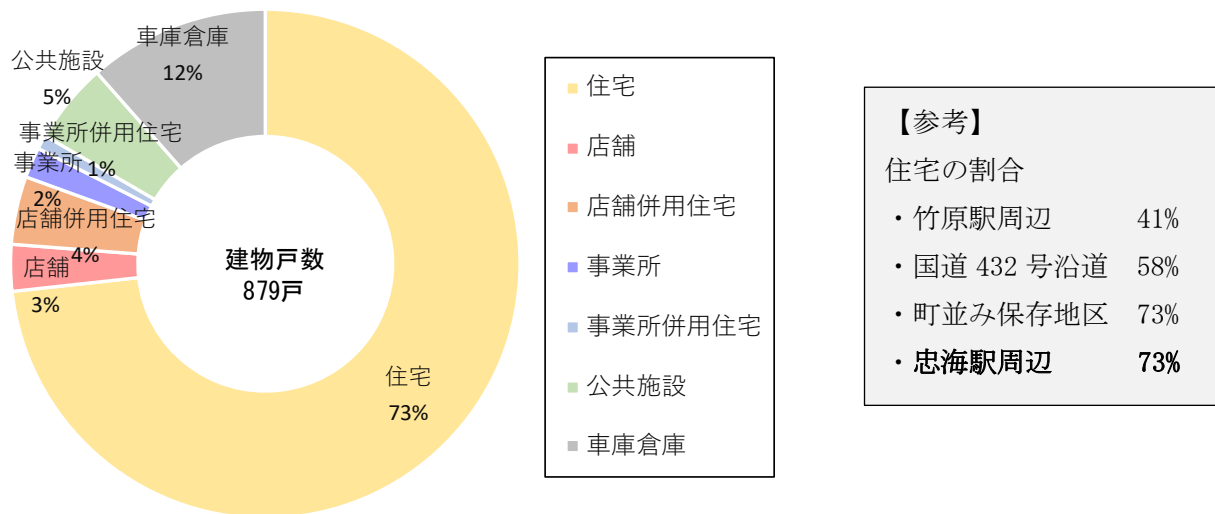
■明度

➤ 地域内の建築物の外壁は「強調色」として 低明度の色を基本し、幅広い明度の色が使われている。



4) 建物用途

- 地域内の建築物の **70%以上は住宅**となっている。
- 店舗等は忠海駅前や検討区域中央の付近に集中している。



視点場調査

I 竹原地域

1) 普明閣

■一体的な景観を阻害する建物等



■阻害理由

①連続的な稜線を遮る高さの建物	②周辺と不調和な色彩の看板
③周辺と不調和な形態・高さの建物	④周辺と不調和な色彩の建物
⑤周辺と不調和な色彩の看板	⑥周辺と不調和な色彩の建物

2) 竹原駅前

■一体的な景観を阻害する建物等



■阻害理由

①周辺の建物より高い電柱及び電線	②連続的な賑わい景観を阻害するシャッター
------------------	----------------------

3) 酔景の小庭

■一体的な景観を阻害する建物等



■阻害理由

①周辺と不調和な形態の建物	
---------------	--

Ⅱ 忠海地域

1) 黒滝山

■ 一体的な景観を阻害する建物等



■ 阻害理由

① まちなみ眺望を遮る樹木	② 周辺と不調和な高さの建物
---------------	----------------

建築物の形態意匠調査

調査目的

- ・重要伝統的建造物群保存地区と一体的な景観を有する地域を把握するため、建築物の形態・意匠を調査する。

調査方法

- ・Google ストリートビューを用いて建物を伝統的な外観を有する建築物とその他の建築物に分類する。
以下に分類の基準とした写真を示す。



調査結果

- 伝統的な外観を有する建築物は重要伝統的建造物群保存地区の周辺にも点在しており、特に道の駅たけはらから町並み保存地区への主要ルート沿道で特に多くなっている。

